

みしま



2010

12

広報みしま No. 213

特集 **地域に学ぶ**

写真 / JR 只見線・只見川第1鉄橋 (11月4日撮影)

特集 地域に学ぶ



四柳嘉章氏（輪島漆芸美術館長）による講演



特別展示荒屋敷遺跡里帰り展の様子



出土した漆塗りの赤糸玉
当時の塗りの再調査も必要か

赤い漆塗りの装飾品の糸玉が出土。漆塗りの工程など当時の科学では解明できなかつたことはあつたとしても、会津の漆文化の原点ともいえるものがたりが生まれてきます。



赤坂憲雄氏（県立博物館長）



森幸彦氏（県立博物館学芸員）

それが数千年生き続ける。それが現代では加飾技法の発達によって芸術の域に昇華された。」
森氏「縄文時代の漆は庶民のもの、自分たちのものだった。しかし、弥生時代からは権力者のものになり庶民から離れていってしまった。」

第2回三島学フォーラム「荒屋敷遺跡と漆とものづくり文化」が10月29日交流センター山びこで開催されました。三島の歴史・文化・自然に学び、地域の物語をつづる三島学フォーラムは第2回目。赤坂憲雄氏（福島県立博物館長、三島町歴史文化基本構想策定委員会委員長）を座長とし、四柳嘉章氏（石

川県輪島漆芸美術館長）、森幸彦氏（福島県立博物館学芸員）による座談会を行いました。

漆文化九千年の歴史から紐解かれた荒屋敷遺跡

世界的には「JAPAN」の名前で親しまれている漆。漆はまさに日本の文化に他なりません。荒屋敷遺跡からは目の覚める程

四柳氏「塗料の中で文化がつくのは漆文化のみ。漆は精神的な塗料。祭具に塗られている漆はほとんどが赤。赤は火の色、血の色、あるいは循環して蘇る太陽の色。要するに復活再生のシンボルと言える。精製された漆に赤の顔料を混ぜると深みのある永遠の塗料が生み出され、そ

荒屋敷遺跡から始まる会津の漆文化

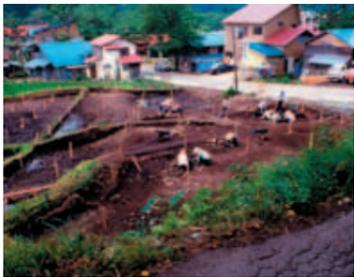
第2回三島学フォーラム

赤坂氏「会津の漆文化の発信はまさにここ三島町の荒屋敷から。木地師もあり、漆の栽培を行っていた集落もある。それらを物語でつなげることができれば、三島町の荒屋敷遺跡もその価値を再認識できるのではないか。」
縄文と今を繋ぐ編み組の文化
四柳氏「荒屋敷から出た編み組の繊維製品は当時は特定できなかったが、現在の技術を使って再調査する必要があるだろう。また、縄文時代の編み組の形、

編み方、編組材がどんなものなのか、新しくもあり古くもある。いろんな可能性を秘めている。縄文のデザインの中にも優れたものがたくさんあるので、そういった情報を現在に活かして頂きたい。」

「三島学フォーラム」フィードバックは10月29日に行われました。森幸彦学芸員と町文化財専門委員の小松順太郎さん（西方）の解説で、みしまビューポイントから遺跡の分布の状況を確かめ、荒屋敷遺跡発掘跡を訪れ当時の様子を振り返りました。また、大登地区で現在も残る伝統の編み組細工を見学しました。

赤坂氏「三島町は現代のものづくり、里山の森の恵みを受けながらそれを工芸として表現するという文化をもっている。しかし、必ずしも荒屋敷遺跡と結びつけてこれなかった。今の時代の手仕事約2,400年前の縄文人達がきつと冬にやっていたであろうその仕事を今も続けているという大きな物語の中で表現できると、そこに見える風景も大きく変わるだろう。」



荒屋敷遺跡の発掘当時の様子



1



2



3



4

1. ビューポイントでは、眼下に流れる只見川の景色を楽しみながら、三島の地理、歴史を学びました。
2. 約2,400年前の土器が発掘された荒屋敷遺跡跡では小松文化財専門委員から発掘当時の解説がありました。
3. 4. 大登地区にて、伝統工芸士である五十嵐文吾さん、二瓶新永さんの技を見学。

未来につなぐ 農の暮らし

会津学研究会主催
寺子屋談義「未来に伝えたいこと」

齋藤民部さん基調講演と
参加者による座談会が開催される



齋藤民部さん（写真左）の基調講演



熱心に話を聞く参加者の方々

「寺子屋談義 未来に伝えたいこと」は11月21日、西部地区西隆寺で行われました。奥会津書房の「会津学」6号発刊にあわせて開かれた談議には、三島町はもちろん、会津若松市や白河市、また山形県から参加したという方もいました。

基調講演と寺子屋談義の2部に分かれ、元小学校教諭の齋藤民部さん（宮下）が講演しました。「会津学」6号に寄稿した齋藤さんは、聞き書きを手法とした体験や記憶の記録方法を、30年以上前に小学生と行ってきました。地域に入り込んで聞き書きをすることについて齋藤さんは「地域こそ教材の宝庫です。歴史の真実を掘り起こす、とても魅力的な学びの場なのです」と話しました。

寺子屋談義では、「未来に伝えたい農の暮らし」のよきに記録し残していくのか」をテーマに、赤坂憲福島県立博物館長をゲストに迎え、参加者全員で話し合いました。

「会津学」6号

【特集】暮らしを編む

会津学研究会より「会津学」の新刊第6号が出版されました。寺子屋談義の基調講演でも紹介された齋藤民部氏の「みんなで調べた宿場町」「みんなで調べたかんがい用水の歴史」をはじめとし、大石田の虫送り、「三島を学ぶ」で紹介された「ヒンムキの暮らし～大正から戦後の食糧難をきたした人々～」など、山村の農とのかかわりのある暮らしが書き留められています。

地域の皆さんから聞き取り、学び得たものが記録されていく。それが積み重なり、小さな物語が綴られていきます。新刊は奥会津書房より町の図書コーナーに寄贈されました。ぜひご一読ください。



「三島を学ぶ」10回の歩み

- 第1回 「荒屋敷遺跡 発掘秘話」
講師：小柴吉男さん（故）
- 第2回 「中世の三島町～山ノ内一族の興亡～」
講師：小柴吉男さん（故）
- 第3回 「伝説が語る古代の三島町」
講師：小柴吉男さん（故）
- 第4回 「参宮道中記を読む～天保3年 郷戸村長 五郎、滝谷村忠蔵、宗吉、藤助ら11人の大旅行～」
講師：海老名俊雄さん
- 第5回 「参宮道中記を読む（後編）」
講師：海老名俊雄さん
- 第6回 「西方・日向山の暮らし～大正から戦後の食糧難をきたした人々～」
講師：小松昭八さん 小柴吉男さん（故）
- 第7回 「宮下発電所建設秘話」
講師：小柴吉男さん（故）
- 第8回 「戦中の三島町～出兵兵士を見送った宮下のプラスバンド～」
講師：小柴吉男さん（故） 目黒弥作さん
- 第9回 「巡見使歓待秘話～米沢まで接待を見に行った松原の勇介～」
講師：海老名俊雄さん
- 第10回 「三島の自然を学ぶ～町の地面は何でできている？～」
講師：小柴七治さん

「三島を学ぶ」

三島町の豊富な歴史や文化を学び、三島の昔と、未来の三島をつなぐきつかけに



講座の様子



「三島を学ぶ」講師を務めた（上から）海老名俊雄さん（松原）、小松昭八さん（西方）、目黒弥作さん（宮下）、小松順太郎さん（西方）、故小柴吉男さん（名入）

「三島を学ぶ」は、いまここのネットの主催、奥会津書房、町教育委員会の共催で、平成21年に始まりました。現在まで10回開催され、各回でテーマに沿った講師を迎えています。テーマは三島の歴史、自然、遺跡などさまざまです。また、講座では講師の方のとお

きの話のほか、歴史的な資料や、貴重な写真などを見ることが出来ます。

「三島を学ぶ」を担当している川合正裕さんは、「町の豊かな歴史や文化を、次の世代に伝えていくお手伝いになればうれしいです」と話しています。

「三島を学ぶ」講師として、また、町文化財専門委員としてご協力いただきました小柴吉男氏は9月16日に急逝いたしました。これまでのご協力に感謝申し上げますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

物語のある まちづくり



1_ 町指定文化財 大石田のおなかなし
2_ 漆の芸術祭 中学生ワークショップ
3_ 三島を歩く ヒンムキの山の神様



三島学フォーラムや寺子屋談義、三島を学ぶなどの活動からさまざまな物語が掘り起こされてきました。物語は町全体を包み込むような大きな物語であったり、地区をイメージしているような物語であったり、あるいは個人の価値観や文化を守る意味を示すものであったりします。その物語が人々に感動を伝え、共感を生み出すことにつながると、その一つ一つを大切に守り、伝えて

三島小学校3年生 地区を探検する



いきたいという想いに繋がっていくはず。町では、文化庁の「文化財総合的把握モデル事業」の中で歴史や文化、そして文化財を活かしたまちづくりをすすめるための今後10年間の施策・方針を示した「三島町歴史文化基本構想」を策定しています。3年間で町民の皆さんと一緒に地域のことを話し合う会や三島学フォーラムなどを通して、町全体の、あるいは集落ごとの「物語」を掘り起こしてきました。と同時に、これまでやらなくなった年中行事の復活や、行かなくなってきた石祠までの参道の整備、地区の文化を活かした交流事業など町民の皆さんの努力で新しい文化的な



総合学習の時間でそれぞれの地区はどんなところかを調べるために探検しました。地域の皆さんにお世話になりました。

- 1_ 川井ビューポイントから
- 2_ 早戸地区 五十嵐紀美子さん
- 3_ 桧原地区 海老名俊雄さん
- 4_ 滝原地区 佐久間悦雄さん
- 5_ 滝谷地区 角田伊一さん
- 6_ 滝谷地区の三十三観音を尋ねる



活動が生み出されています。地区の人口がさらに減少し、高齢化率がますます高まっていく時代。それでもなおこの地域に生きていくための方法を私たちは選択していかねければなりません。平成23年度より始まる、第四次三島町振興計画の中でも、地域に学びながら地域のことを深く追求し、地域への誇りの再生や集落の活性化が重点的な事業となっていく予定です。三島町歴史文化基本構想はそれらをより具体的に、皆さんと一緒に考えながら地区の維持と再生を図っていくことを目指していきます。

特集「地域に学ぶ」
終わり



佐藤果怜さん



半澤綾乃さん



長谷川彩さん

生涯学習表彰

(文化部門)

- 佐藤 果怜さん (三島小6年)
- ・第34回みどりの絵コンクール 入選
- 半澤 綾乃さん (三島小6年)
- ・第8回ドコモ未来ミュージアム 佳作

(スポーツ部門)

- 長谷川 彩さん (三島中3年)
- ・第53回福島県中学校体育大会陸上競技共通女子走り高跳び 6位入賞

三島町文化祭は11月3日(文化の日)、町民センターで行われました。優れた文化活動やスポーツ活動を表彰する生涯学習表彰では、文化活動2名とスポーツ活動1名が表彰され、齋藤茂樹町長から表彰状が手渡されました。また、社会を明るくする運動標語コンクール、交通安全運動標語コンクールの表彰が行われ、特選を受賞した三島小中学生6名が表彰されました。

続いて「青少年の主張」が行われ、小中学生、社会人によるスピーチがあり、その後、小中学生による合唱や、演芸披露などが行われ、日ごろの成果を発揮していました。会場では、書、写真、絵画、切り絵、俳句、生け花など町民の力作が並んだほか、デジタルフェアや健康福祉展などが開催されました。出店コーナーでは農産物の即売会やコロッケ、地鶏を使ったメニューの発表会があり、多くの来場者でにぎわいました。



さまざまな想いを作品にのせて
発表する喜び、想いを感じとる楽しみ

共に語ろう 共に学ぼう 2010
三島町 文化祭



- 1_ 午後から町民センター大ホールで行われた芸能発表。謡曲やカラオケ、太極拳、神楽などが披露されました。
- 2_ 三島小学校体育館では、児童生徒の作品展が行われ、三島小中学校、三島保育所の子どもたちの作品が並びました。
- 3_ 俳句・切り絵展。展示された力作について話がはずみました。
- 4_ 町民課の健康福祉展の様子。体感型ゲーム「wii(ウィー)」が子どもたちに大人気でした。



そばまつりが行われた大谷活性化センター

こだわりの新そば味わう おおたに新そばまつり

おおたに新そばまつりは11月14日、大谷活性化センターと圓福寺で開催されました。活性化センターでは、目の前で実演された手打ちそばや、会津地鶏の焼き鳥などが味わうことができました。また、圓福寺では無料の揮毫会や茶席が用意され、参加した皆さんは味覚と視覚で新そばまつりを楽しんでいました。



子どもも保護者もみんなて手遊び

絵本とお話の会の方々と遊びましょう 三島保育所でワンダークラブ

保育所入所前のお子さんを対象にしたワンダークラブは11月10日、三島保育所で行われました。子どもたちは「絵本とお話の会（代表：北館緑さん）」の方々に絵本を読んでもらったり、パネルシアターを見たり手遊びをしたりして楽しみました。次回は12月16日（木）の予定です。お気軽にご参加ください。☎三島町公民館 48-5599



供養塔に参拝する参加者の方々

供養塔に参拝し、自然に感謝 早戸地区 虫供養

早戸地区の年中行事「虫供養」は11月10日に行われました。虫供養は、駆除した虫の霊を慰めるもので、集落のはずれにある供養塔に御札やお菓子を御供えます。今回の虫供養は早戸地区の方々以外にも福島大学行政社会学類の学生が参加しました。地区の方々から虫供養の歴史や地区のことを教えてもらいながら、三島の年中行事に触れていました。



クリスマスツリーを作ったみんなて記念撮影

気分はもうクリスマス 「ゆめぼけっと」でクリスマスツリー作り

11月25日、三島小学生20人と「絵本とお話の会」、桐の子隊スタッフのみなさんが、町民センター図書コーナー「ゆめぼけっと」でクリスマスツリーを作りました。子どもたちは色紙で作ったサンタさんに顔を描いたり、長靴形に切り取ったものを、クリスマスツリーに飾りつけました。

クリスマスツリーは図書コーナー「ゆめぼけっと」で見ることができます。



地元産品作りを目指したワークショップ

地元産品作りを目指しワークショップ 高知県四万十町の取り組みに学ぶ

「地元のものを生かした産品を作ろう」と題したワークショップは11月15日、町民センターで開かれ、町内から10人ほどが参加しました。地域資源を活かした商品の開発を目指して町が主催しました。

講師には、株式会社四万十ドラマ代表取締役社長の畦地履正さん、同社研究員でファシリテーターの佐々倉玲於さん（ともに高知県四万十町在住）を招きました。株式会社「四万十ドラマ」は、清流で知られる四万十川流域の道の駅「四万十とおわ」を運営しながら、地元の商品開発に取り組み、三島町よりも交通量が少ない立地にもかかわらず大きな成果を上げています。また、そのノウハウを広める研修事業にも積極的です。

参加者は、四万十川流域での商品開発を学びながら、三島町や只見川流域にある資源を模造紙に書き出しました。畦地さんは「自分たちにはできることを見つめ直せば、立派な商品が生まれます。ここには四万十にはないものがたくさんあります。本当にもったいないです」と話しました。次回は12月20日に行われ、具体的な商品開発を目指します。



講師を務めた株式会社四万十ドラマの畦地履正代表取締役社長



戦没者に哀悼の意を捧げます。

戦後65年 平和を祈って 戦没者慰霊祭

11月9日、三島町戦没者遺族会の主催による戦没者慰霊祭が町民センターで行われ、遺族の方43名が参加しました。慰霊祭では黙とうの後、齋藤町長、角田議長が追悼の言葉に続き、読経と焼香が行われました。

戦後65年を迎えた2010年。何年経っても癒えない傷跡が三島町にも残っています。



会津若松市の本丸茶屋で行われたそば会の様子

美味しいそばで親睦深める 若松三島会そば会

毎年恒例となった「若松三島会そば会」は11月14日、会津若松市の本丸茶屋（鶴ヶ城隣り）で開催されました。会員と町からの参加者あわせて約30名により、ふるさとの話題で盛り上がり、美味しいそばに舌鼓を打ちました。

「若松三島会」では、新規加入者も随時募集しております。加入を希望される方・興味のある方はぜひご連絡ください。

☎若松三島会事務局：舟木政一 ☎0242-24-8128

宮下病院からのお知らせ

♪クリスマスコンサート♪
～フルートの調べ～

宮下病院では、12月のクリスマスにあわせてフルートによるコンサートを開きます。今年は「星」がテーマです。フルートのやさしい音色で、懐かしい曲や親しみやすい曲をお届けいたします。

ぜひ、コンサートに来て、心地よい、安らぎのひと時を味わってみてください！

☆ 日時と場所 ☆

平成22年12月15日(水)

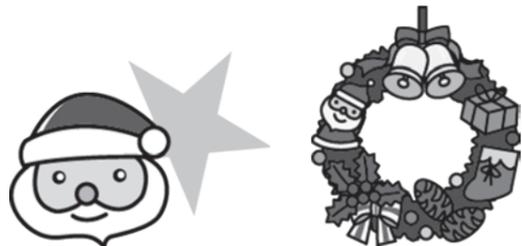
10:00～10:30 (病院玄関ホール)

11:00～11:30 (2階病棟 踊場)

14:00～14:30 (病院玄関ホール)

☆演奏者：岩沢 麻実さん
(会津若松市在住)

*去年に引き続き、クリスマスコンサートを開催いたします。なお、受付のわきにリクエスト箱があります。聞いてみたい曲がありましたら、リクエストしてください！



民生委員・児童委員が
委嘱されました



高齢者生活福祉センターでの委嘱状伝達交付式

三島町民生・児童委員の感謝状贈呈式と委嘱状伝達交付式が11月29日、高齢者生活福祉センターで行われました。民生・児童委員の任期は22年12月1日より平成25年11月30日までです。地区の相談役として、子育てから高齢者介護まで、さまざまな疑問や悩みに答えます。

民生委員・児童委員 (敬称略)

氏名	担当地区
角田 文子	宮下
中丸 一雄	宮下
萩野 耕市	荒屋敷・桑原・中平
馬場 弘子	大登・川井
海老名 弘	桧原
若林 幸代	滝谷
五十嵐 富一	大谷
久保田 昭一	浅岐・間方
小松 豊	西方
小柴 信子	西方
秦 清吉	大石田
飯塚 光義	名入・小山・高清水
板橋 健也	滝原・早戸

主任児童委員

氏名	担当地区
横田 源一	全域
二瓶 範子	全域



端宝単光章を受賞した五十嵐五郎さん (写真中央)

五十嵐五郎さん
端宝単光章を受章

五十嵐五郎さん(大谷)が、秋の叙勲において瑞宝単光章を受賞しました。伝達式が11月16日に三島町役場 町長室で行われ、会津地方振興局の島利行局長が五十嵐さんの功績をたたえ、勲章や勲記を伝達しました。

五十嵐さんは昭和39年に消防団に入団し、分団長、副団長、団長を歴任。平成21年までの45年に渡り消防活動を続けました。また、機能別団員制度を導入し、三島町の予防消防の普及と消防活動の強化に尽力しました。本当におめでとうございます。

本 町民センター図書コーナー
ゆめぽけっと

●利用時間 月～土 9:00～21:00
日・祝 9:00～17:00
●お休み 年末年始
●教育委員会 ☎(48) 5599

his bright light

一般向け
輝ける日々
ダニエル・スティール
畑 正憲・訳 朝日出版社

著者の息子ニックは19歳で自らこの世を去った。幼いころから利発でユーモアに溢れていたが、その半面攻撃的になったり、奇抜な行動をとったりした。彼は若年性躁うつ病だったのだ。精神障害を持つとはどういうことなのか、母親として、作家として鋭い洞察力で綴った、感動の自叙伝である。

絵本 プーのはちみつとり 幼児向け
A.A. ミルン・文 E.H シェパード・絵
石井桃子・訳 岩波書店

くいしんぼうのクマのプーさんは、風船につかまって、木の上へハチミツを取りに行こうとしました。ところが・・・

幼児向け 人物日本の歴史42 野口英世
樋口清之・監修 山田ゴロ・画
国際情報社

野口英世ほど少年少女たちに長い間にわたって尊敬された人物も少ないでしょう。酒飲みでどこか抜けていても、がむしゃらに努力する人間性が愛されています。

一般向け ガリヴァ旅行記
スウィフト・作 中野好夫・訳
新潮文庫

船員ガリヴァが「小人国」「大人国」「飛鳥」「馬の国」を巡る4部からなる、古今東西を通じての風刺文学の傑作です。

これからの行事予定 town schedule

12月7日(火)
教育委員会定例会 16:00～町民センター

12月22日(水)
スキー場開き 15:00～町営スキー場

1月4日(火)
新年名刺交換会・自治功労表彰 10:00～町民センター

1月4日(火)
民生児童委員協議会定例会 13:00～福寿草

1月6日(木)
三島町消防団出初式 10:00～宮下地区

三島町社会福祉協議会 地域ふれあいサロン

川井友愛サロン
12月9日(木) 10:00～川井集会所

滝谷和楽塾
12月16日(木) 10:00～滝谷地区集会所

☎ 社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

歳時記 萌の会

酒蔵のコーヒー店や冬近し
野仏の顔洗いたる秋の雨

宮下 栗城 三保

ひなたぼこ肩寄せ合いし老二人
冬眠の餌なく熊は里に出づ

西方 小平 佳子

みんなで健康づくり<<保健事業の予定>>

☎ 役場 町民課 保健福祉係 ☎ (48) 5565

ヘルスアップうんどう教室
12月13日(月)13:30～場所:町民センター

足腰げんき教室 (室内運動編)
12月14日(火)13:30～場所:町民センター

総合検診 (まだ受診されていない方)
12月14日(火)8:00～9:30 受付
場所:町民センター

ヘルスアップえいよう教室
12月20日(月)13:30～場所:町民センター

足腰げんき教室 (水中運動編)
12月21日(火)10:00 町民センター集合
場所:リステル猪苗代

火災予防 年末年始特別警戒実施 12月15日～1月15日

暖房器具の使用が多くなる時期です。次のことに注意して平和な年末年始を過ごしましょう。

1. ストープの上に洗濯物を干さない
2. 点火したまま動かしたり、給油したりしない
3. タコ足配線はしない
4. コンロから目を離さない

問い合わせ：
会津坂下消防署 三島出張所 ☎ 52-3032

ご寄附 ありがとうございました

三島町社会福祉協議会へ

ご遺志によるもの

鈴木 隆 様 (松原)
五十嵐 孝 様 (大石田)
角田 津代志 様 (浅岐)
長谷川 昇 様 (大登)

年末年始の交通安全 県民総ぐるみ運動

平成22年12月10日(金)～
平成23年1月7日(金)

ちよつとまて！
たった一杯
危険はいっぱい

運動のスピードガンは・・・

安全運転を心がけ 楽しい年末年始を 過ごしましょう。

三島町交通対策協議会
交通安全協会三島分会
三島町交通安全母の会

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では10月中、刑法犯の発生が1件ありました。

街頭犯罪発生状況(10月末現在)

区分	管内	三島町
空き巣狙い	2	
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし	1	
自動車盗	4	
オートバイ盗		
自転車盗	17	
自販機狙い	6	
車上狙い	16	
部品狙い	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	48	0
全刑法犯	124	4

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

情報公開・個人情報保護 総合案内所のご案内

総務省 福島行政評価事務所

総務省 福島行政評価事務所の情報公開・個人情報保護総合案内所では、国の行政機関、独立行政法人、特殊法人の情報公開や個人情報保護に関する制度の仕組み、開示請求手続き、請求窓口など、制度全般にわたる総合的な案内を行っています。

- ◎こんな疑問にお答えします！
- ・情報公開法や個人情報保護法ってどういう法律ですか
- ・私の個人情報はどのように保護されていますか
- ・この文章の開示請求先はどこですか

※相談無料です。

問い合わせ：福島行政評価事務所

☎ 024-515-0193



NTT東日本の発行の電話帳を 配達・回収いたします

NTT 番号情報株式会社

NTT 東日本福島では、12月中に順次、新しい電話帳(平成23年1月発行)を各ご家庭・事業所へお届けいたします。その際、現在お使いの電話帳は、新しい電話帳とお取替えいたしますので、配達員へお渡しください。

NTTでは、地球環境保護として、回収した古電話帳から新しい電話帳を作る「電話帳循環型サイクル」を行っています。

なお、ご不在時などで配達員に古い電話帳を渡せなかった場合、後日改めて回収に伺いますので、下記「タウンページセンタ」までご連絡ください。お届けする電話帳の変更や配達冊数の変更などについても、ご連絡ください。

問い合わせ：タウンページセンタ
☎ 0120-506-309

法的トラブル 困っていませんか

法テラス

日々の暮らしのなかで、思わぬトラブルにあたってしまったことはありませんか。

法テラスは、法的トラブル解決のための総合案内所です。法のトラブルのことなら、法テラスへお気軽にお問い合わせください。

※法テラスは国が設立した公的な法人ですので安心してご利用ください。

○コールセンター

おなやみなし

☎ 0570-078374

受付時間

平日 9:00～21:00
土曜 9:00～17:00

日本司法支援センター福島地方事務所(法テラス福島)

三島町の人口と世帯 (11月1日現在)

人口	2,033	-3	出生	0
男	967	-1	死亡	1
女	1,066	-2	転入	1
世帯	847	0	転出	3

※住民基本台帳による数値です。

雪が降り始める時期になりました

除雪にご協力をお願いします

①歩道や自分の屋根からの雪はみんなで片づけましょう

歩道や指導の除雪は各戸または町内のみなさんにご協力をお願いします。自分の屋根からの雪は片づけてください。道路上に落ちるおそれのある屋根の雪は、特に注意して雪崩止めをつけるか、事前に片づけるかして通行人に危険のないよう十分配慮してください。

②重要保存物件には目印をつけましょう

雪に埋もれて、除雪時に崩壊、損傷などの被害を受ける恐れのあるものは、除雪作業員に注意を促すための旗竿などの目印をつけましょう。

③道路に雪を出さないようにしましょう

道路に雪を押し出すことは絶対にやめましょう。歩行者や自転車の通行に危険を及ぼす可能性があります。交通事故にもつながります。

④消火栓・防火水槽の除雪にご協力をお願いします

消火栓・防火水槽はいつでも使えるように除雪にご協力ください。

⑤支障物は撤去してください

道路や側溝に積んである木材や石など除雪作業に支障となるものは取り除いてください。

⑥玄関先の除雪は各家庭で行ってください

除雪車が通った後、玄関先に雪が残ることがあります。除雪車は、広い地域を短時間で一斉に除雪しなければならず、玄関先までは手が回りません。玄関先の雪は、各家庭で除雪をお願いします。



— 除雪に関する問い合わせ先 —

三島町役場 産業建設課

☎ 48-5566

国・県道の除雪に関する問い合わせ先

福島県宮下土木事務所

☎ 52-2444